

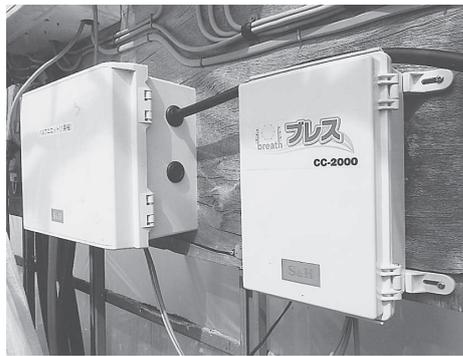
テナーのCO₂局所施用機

現地ルポ



須賀川市は福島県の中心部に位置し、さまざまな農産物の生産が盛んな自然豊かな土地だ。そこで、いちごを栽培する横田雄二さん（横田農園）は地元でもカリスマ的存在で、いちご農家からの信頼も厚い。横田さんの作るいちごは粒が大きく、糖度は20度を超え、美味と評判が高い。その栽培を支えるのがテナーのCO₂局所施用コントローラー『プレス』だ。

「口コミで評判を呼ぶ横最高だ」といふ。「完熟で」といふおとめ（の収量）。そのうちの「CO₂」田さんのいちごは、贈答収穫、いちごの気持ちには、約48t。この収量の調整に欠かせないのが用として直売所や個人になって考える」といふ横可能にしているが、光・『プレス』。春先はハウスの直接販売されており、リ田さんの栽培は、手間を水・CO₂の調整をし、スの温度も高くなる。導た。いまでは『プレス』3台導入している。CO₂に光合成が行われるたピーターが年々増えてい惜しませ、いちごの状態光合成させること。入前までは、化石燃料をがCO₂を局所に施用し、の局所施用は以前から、コスト削減も期待る。収量、売上も増加を常に確認している。80横田さんは「光合成が使うCO₂施用機を使って株元に直接吸わせるこ気になってはいたが、実できる。ほかにも、CO₂濃度、温度、湿度のし、今年は、ともに過去aの規模で栽培するいち一番のポイント。光合成で、CO₂の調整をする とができるから、無駄が際使ってみて収量が大幅O₂濃度、温度、湿度の



横田農園で活躍している「プレス」

「1割は上がしていきたい」と横田君。また、CO₂局所施用コン

粒も大きく、糖度も上がり品はCO₂を配管に通した話。さんある局所に施用から導入し、濃度によってCO₂の量がコンピュータ制御により自動で適効果をとて切に施用される仕組

をうまくさせることで、ためにハウスを開放したなくなった。その効果もに上がって驚いている。『プレス』は今後も導入品質や収量も変わってくりしていたが、CO₂を高く、収量も以前に比べ

光合成がポイント

福島県の横田雄二さん



横田さん

お問い合わせ先は、
ontact@tenuto.co.jp
【横田農園】▽住所
福島県須賀川市日照田
字下屋敷4▽問合先
090-3125-6
410。